



DHI-ASI7213X-T1

簡易マニュアル

目次

1	設置方法.....	3
2	設定.....	6
	(1) 機器初期化.....	6
	(2) メイン画面に入る.....	8
	(3) ユーザー追加.....	10
	(4) 顔認識と測温パラメータ調整.....	13
	(5) 体温のみで解錠.....	15
	(6) web でアクセス.....	16
3	DSS Express 操作方法.....	22
	(1) Express のストレージ設定.....	22
	(2) アクセス端末追加.....	24
	(3) アクセス端末設定.....	26
	(4) ユーザー追加.....	30
	(5) ユーザー編集.....	35
	(6) ユーザー削除.....	35
	(7) リアルタイムで解錠記録を確認.....	36
	(8) ログ確認.....	37

注意

本製品は体温をはかるものではありません。
表面温度を表示するようになっております。
正確な体温を測定するには接触型の体温計を使用ください。

1 設置方法

① 内容確認



② 底面の二つネジを緩ませます。



- ③ 機器裏面の取り付け孔で取り付け板金を設置します（本体のケーブルは板金の孔を通ります）



- ④ 底部のネジで板金を固定します



- ⑤ 測温モジュールを板金の上部に置きます、ケーブルは板金の孔を通ります、後ろからネジで測温モジュールを固定します



⑥ 測温モジュールと本体を繋ぎます

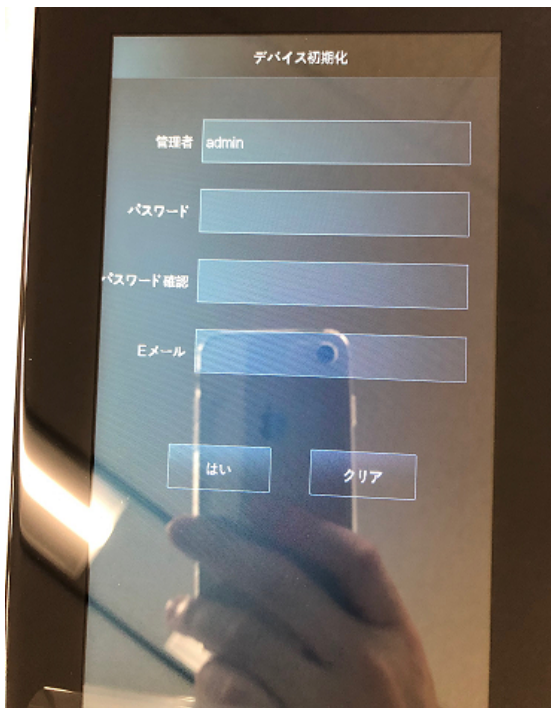


⑦ 設置完了

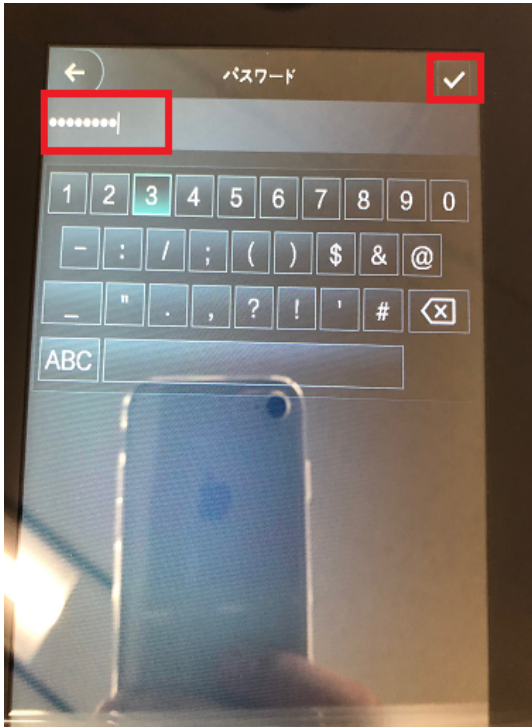
2 設定

(1) 機器初期化

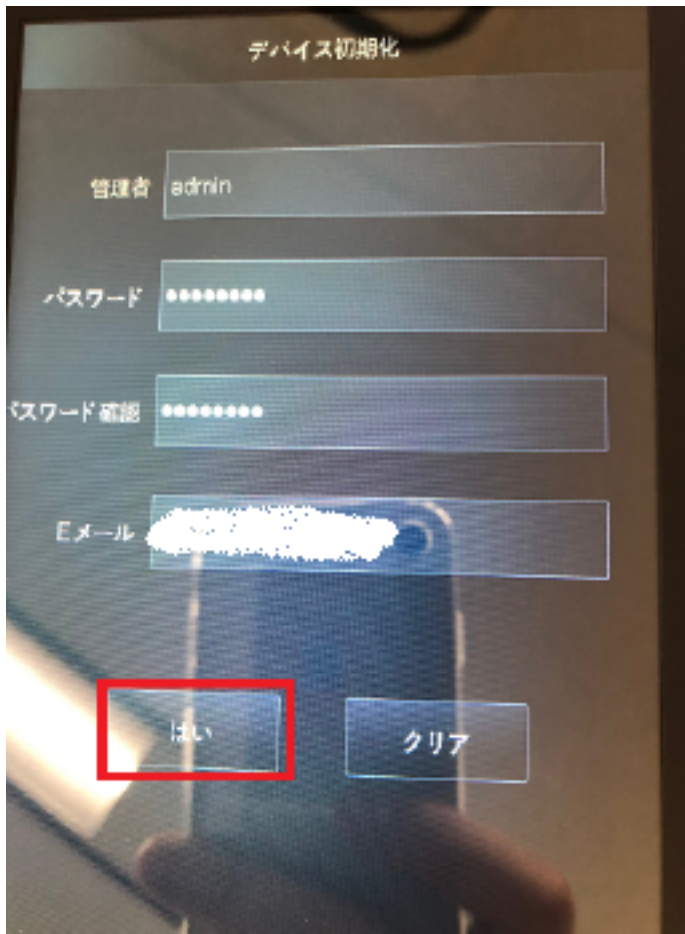
- ① 初めて電源を入れる場合は初期化画面が表示されます



- ② 「admin」はデフォルト設定されています、変更できません。「パスワード」をタッチして、パスワードを設定します、右上の「✓」で保存します



- ③ 同じ方法で「パスワード確認」と「Eメール」を設定して、「はい」でadmin 情報を保存します



- ④ 設置完了

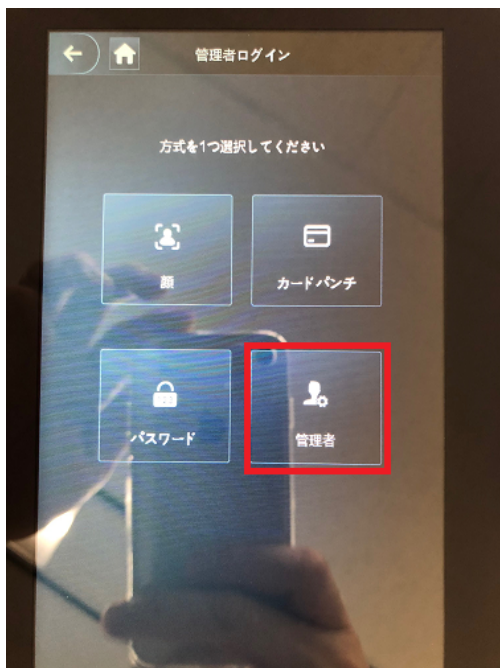
(2) メイン画面に入る

- ① 待機画面で左下のボタンをタッチします

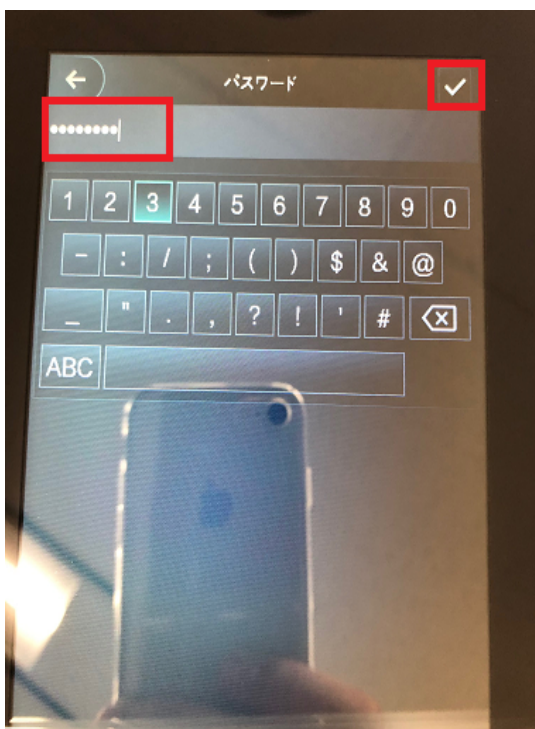


- ② 表示された画面で四つの方式があります

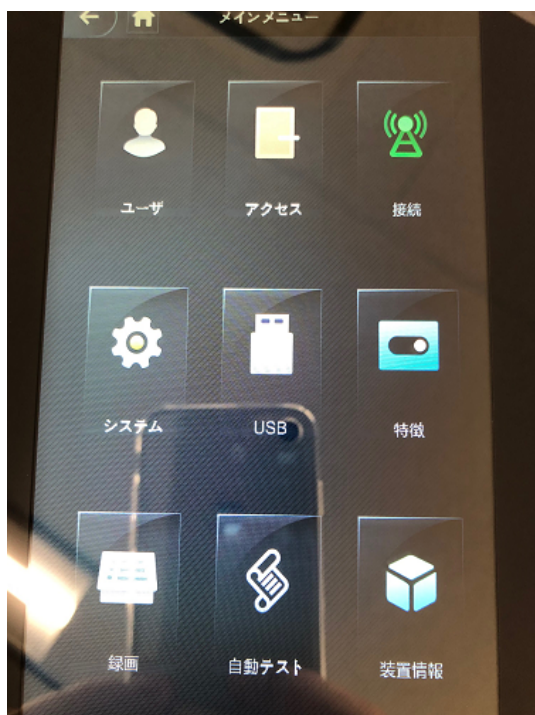
- 1) 顔：顔で認証します
 - 2) カードパンチ：カードで認証します
 - 3) パスワード：ユーザーID とパスワードで認証します
 - 4) 管理者：「admin」アカウントで認証します。
- 1) ~3) はユーザーを追加する必要がありますので、今回は「admin」アカウントで認証します



- ③ 「admin」アカウントを選択する場合、ID は固定されていますので、ID 入力是不要、パスワードだけを入力します、「✓」で認証します



- ④ パスワードが正しく入力される場合はメイン画面が表示されます

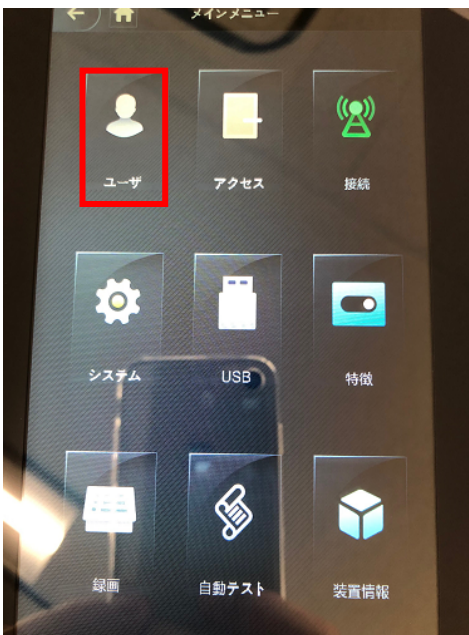


ユーザー	ユーザーの追加、編集、削除などの操作
アクセス	解錠時間帯、方式などの設定
接続	ネット、シリアルポート、wiegand などの設定

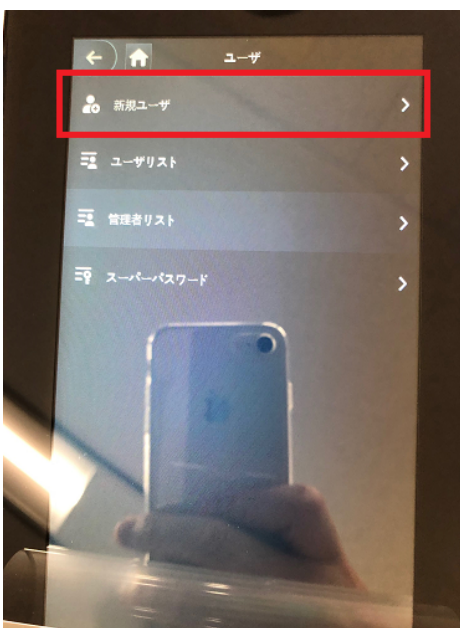
システム	本体時間、顔認識関係のパラメータなどの設定
USB	USB メモリーを利用して、情報の導入と導出、アップグレード
特徴	機器に関する暗号化設定
録画	解錠履歴
自動テスト	機器状態を確認するための機能テスト
装置情報	機器の使用容量とシステムバージョン情報

(3) ユーザー追加

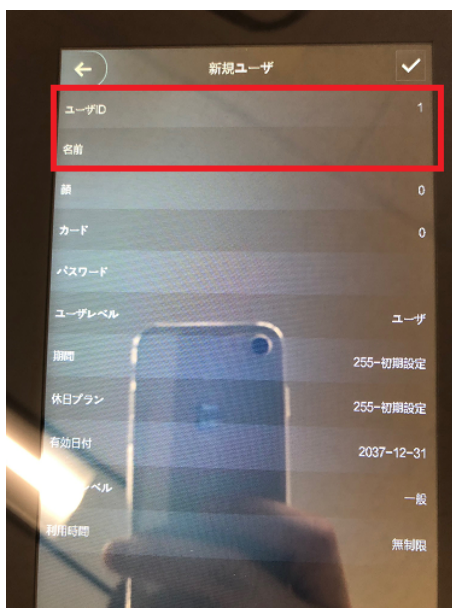
- ① メイン画面で「ユーザ」をタッチします



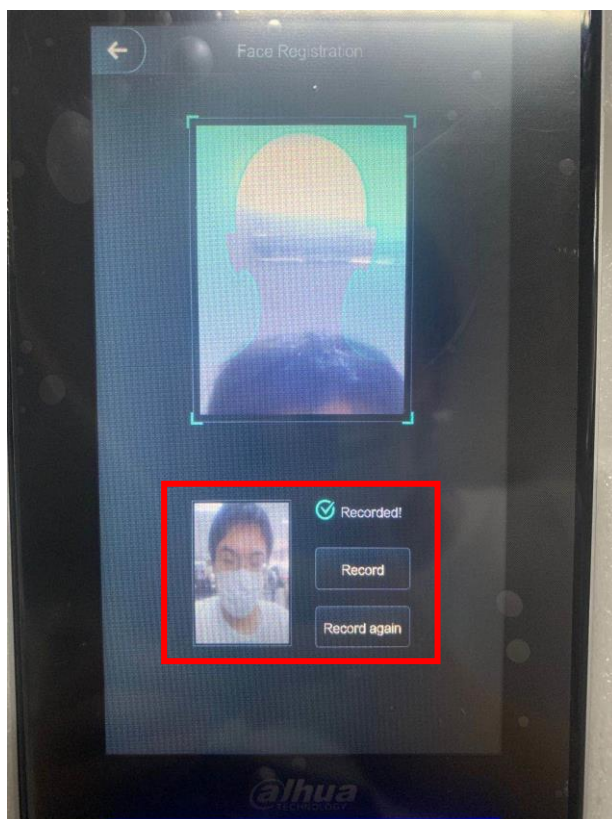
- ② 「新規ユーザ」をタッチします



- ③ 「ユーザID」と「名前」をタッチして、設定します



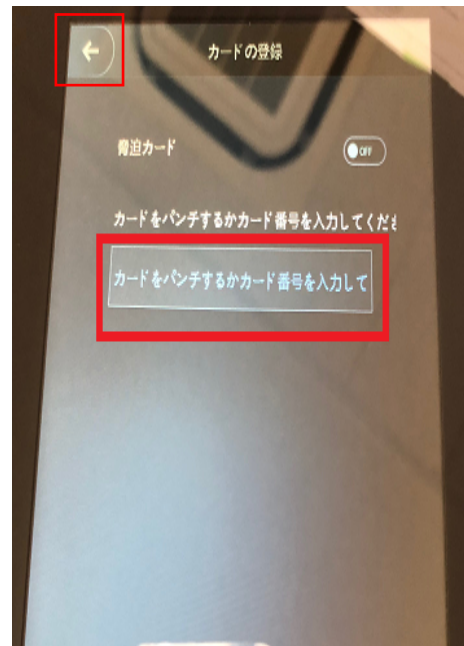
- ④ 「顔」をタッチして、顔情報を登録します。写真と「録画されました!」が表示されたら、「録画」ボタンで顔を登録します。もしもう一度顔が撮影したい場合は「もう一度録画する」ボタンを押してください。



- ⑤ 「カード」をタッチして、カードを登録します。一つユーザーは最大 5 枚のカードを登録できます。まずは一番上のカードを選択します。

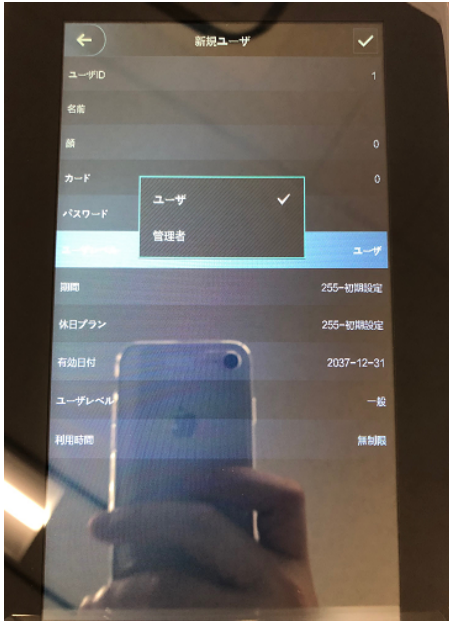


下図が表示される時、端末のカードリーダーのところにカードを置いて、カード情報が読込します。カード情報が表示されたら、左上の「←」で情報を保存します。



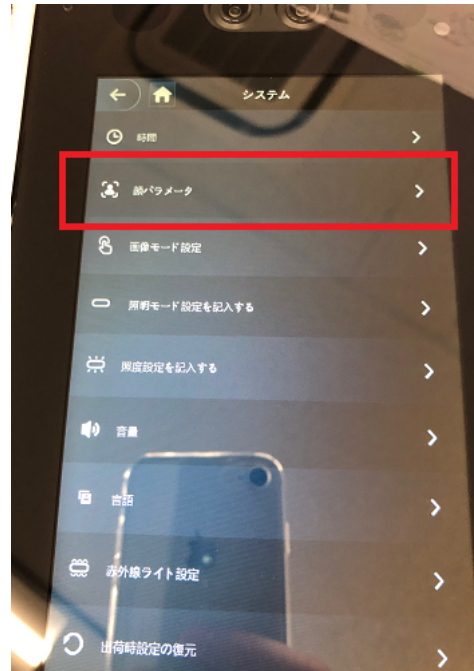
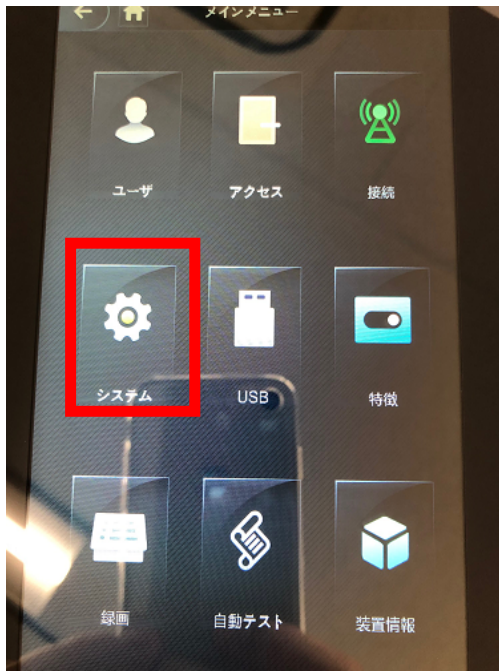
備考：カードの設定画面で「脅迫カード」という項目があります、この選択が「on」にしたら、設定されたカードが脅かしカードになります。このカードは解錠できますが、同時にアラームも発報します。

- ⑥ 最後にパスワード「パスワード」とユーザーレベル「ユーザレベル」を設定します。「ユーザレベル」は「ユーザ」と「管理者」二つの選択肢があります。「ユーザ」の場合はただ解錠できます。「管理者」の場合はこのユーザーがメイン画面に入って、機器の設定も変更できます。「二、設定」 - 「2、メイン画面に入る」 - 「②」の1) ~3) の認証方式が利用可能です。



(3) 顔認識と測温パラメータ調整

- ① メイン画面で「システム」を選択して、次の画面で「顔パラメータ」を選択します。



- ② 「顔パラメータ」画面で顔認識と測温のパラメータが調整できます各項目を説明します。

顔認識閾値	顔認識の閾値、認識の精度に影響があります。
顔認識の最大偏角	顔認識の顔角度
瞳孔間距離	瞳孔間距離、顔認識の距離に影響があります、小さい数値を設定すると、遠距離でも認識できます。

認識タイムアウト(秒)	解錠権限はない人の顔が検知されてから、エラーが出るまでの時間です。
認識間隔(秒)	連続二回の顔認識解錠失敗の提示間隔です。
偽造防止有効	生命体認識。On にすると、写真などの解錠が不可になります。
温度測定	体温測定機能の on/off
測温エリア枠	体温測定エリア表示の on/off
測温距離(cm)	体温測定の距離に影響があります
温度設定値 (°C)	体温異常の閾値
温度校正値 (°C)	体温が正しく測らない場合校正用のパラメータです。
マスクモデル	テストなし：マスク検知 off マスク注意：マスク未着用の場合提示します マスク阻止：マスク未着用の場合解錠できません
温度単位	°C/°F 表示の切替



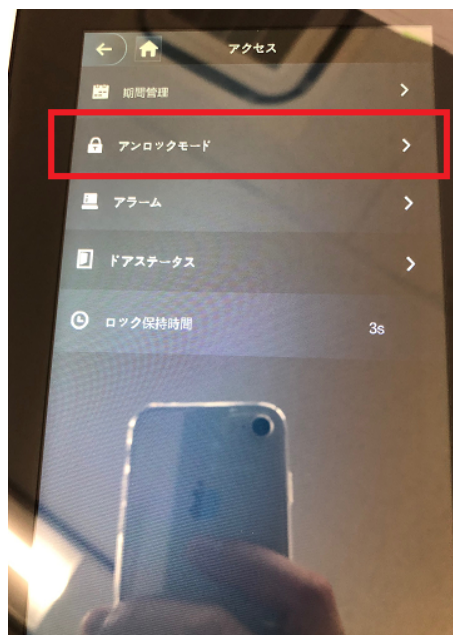
(5) 体温のみで解錠

顔、カードなどを認識しない、体温のみで解錠できます。

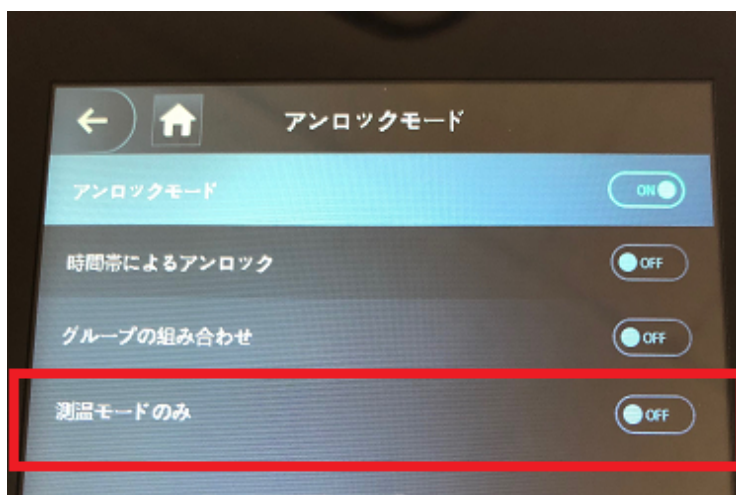
- ① メイン画面で「アクセス」をタッチします



- ② 「アンロックモード」を選択します

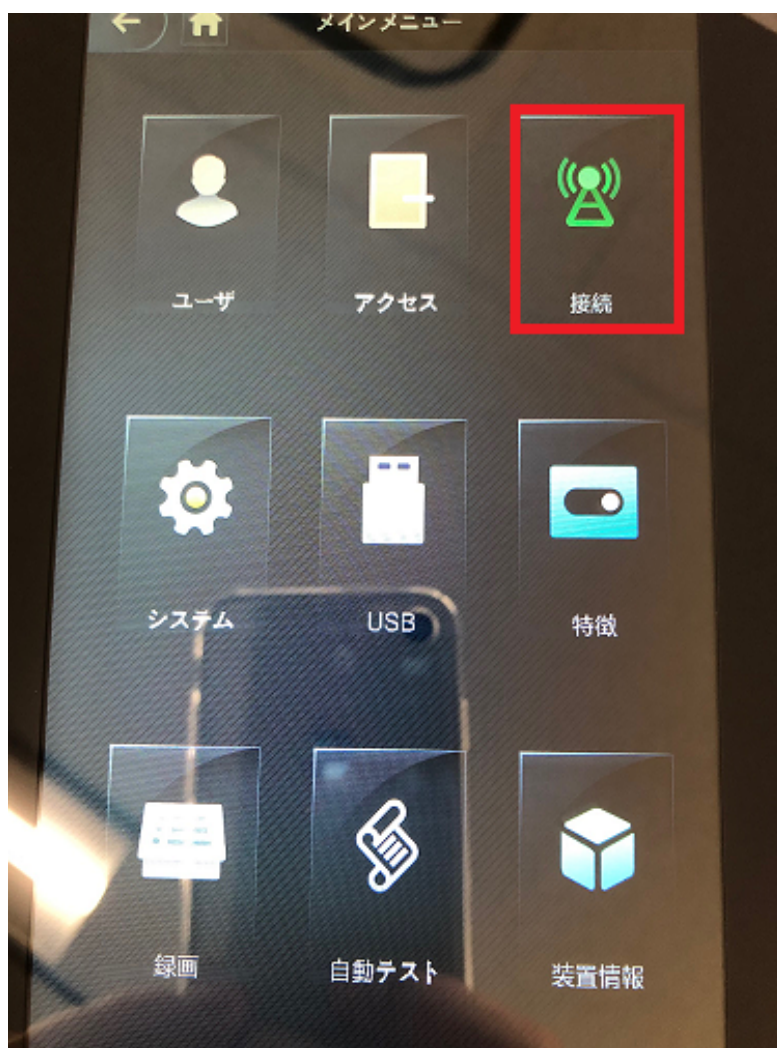


- ③ 「測温モードのみ」を有効します

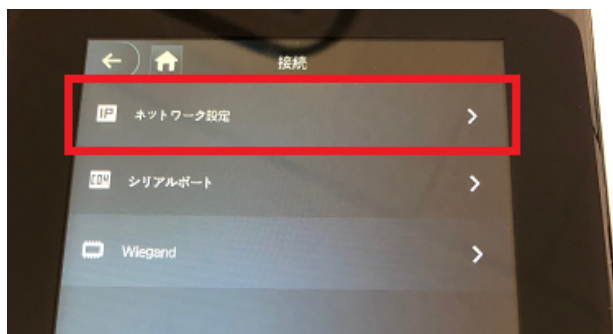


(6) WEBでアクセス

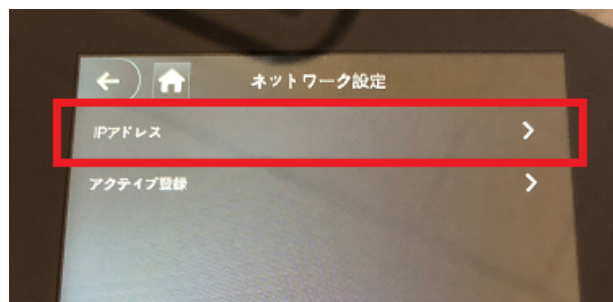
- ① 機器の IP アドレス情報を確認
 - 1) メイン画面で「接続」をタッチします



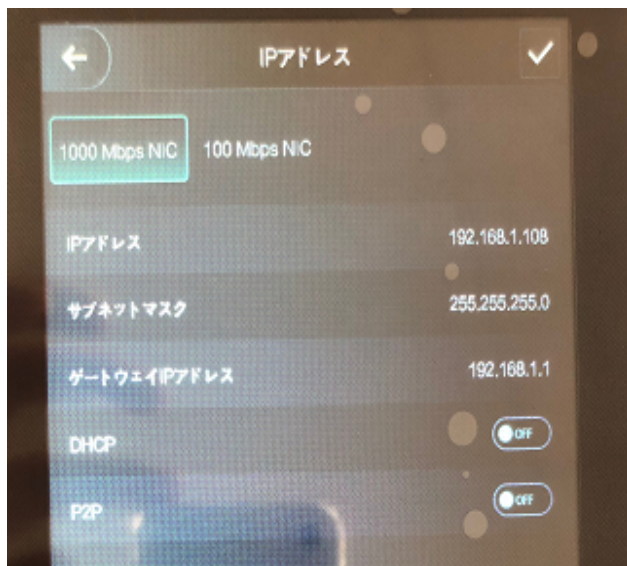
- 2) 「ネットワーク設定」をタッチします




- 3) 「IPアドレス」をタッチします



- 4) 機器のポートは 1000M と 100M 二つがあります。選択によってポートの情報が表示されます。



② PC のポート設定を調整します

1) PC の左下のを右クリックして、「設定」を選択します



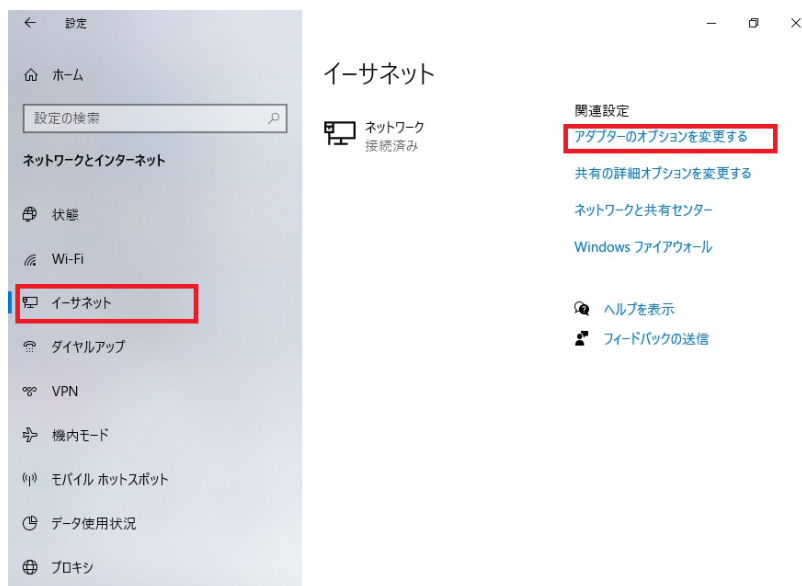
2) 「ネットワークとインターネット」を選択します

設定

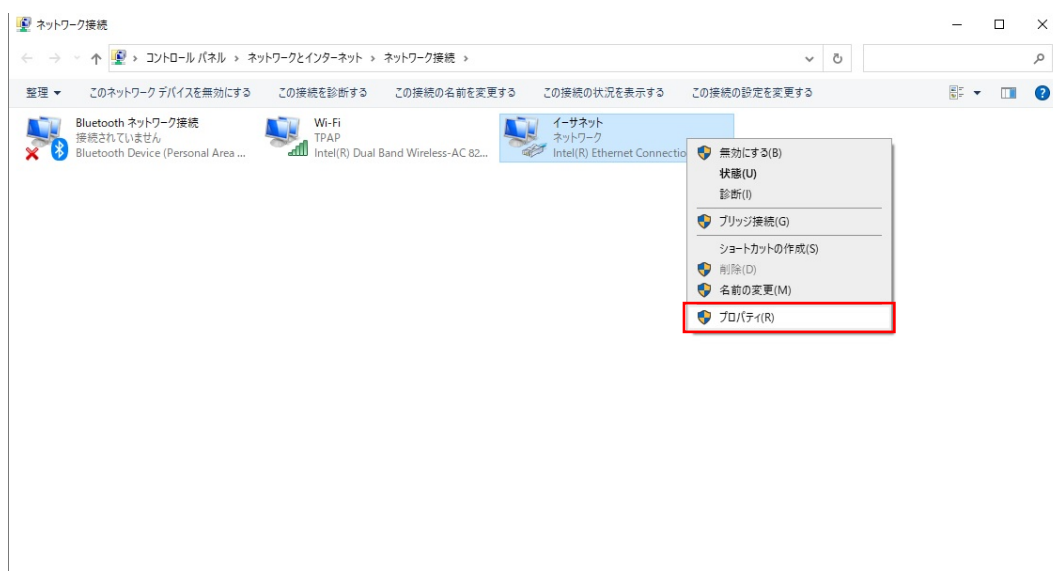
- 0 X



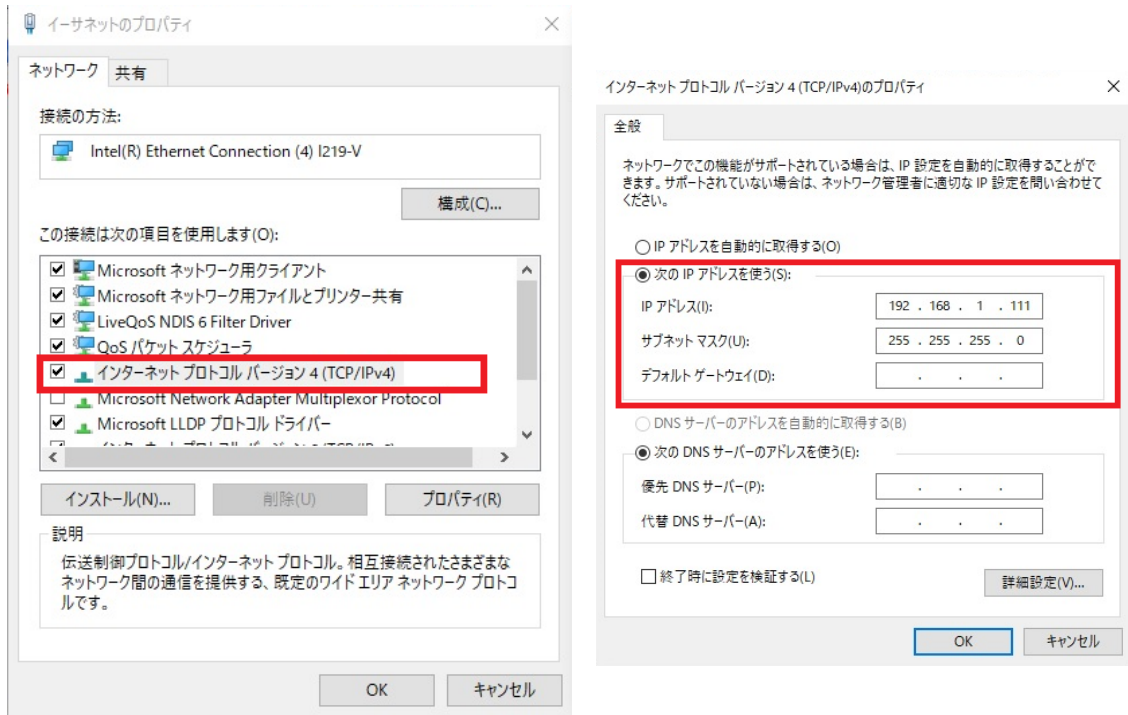
3) 「イーサネット」画面で「アダプターのオプションを変更する」を選択します



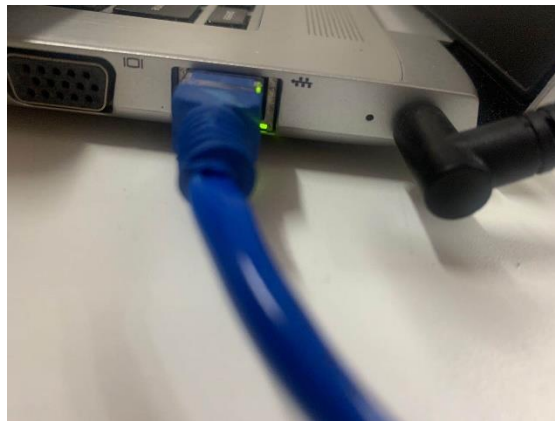
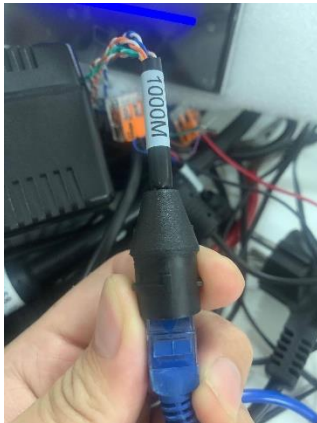
4) イーサネットを右クリックして、「プロパティ」を選択します



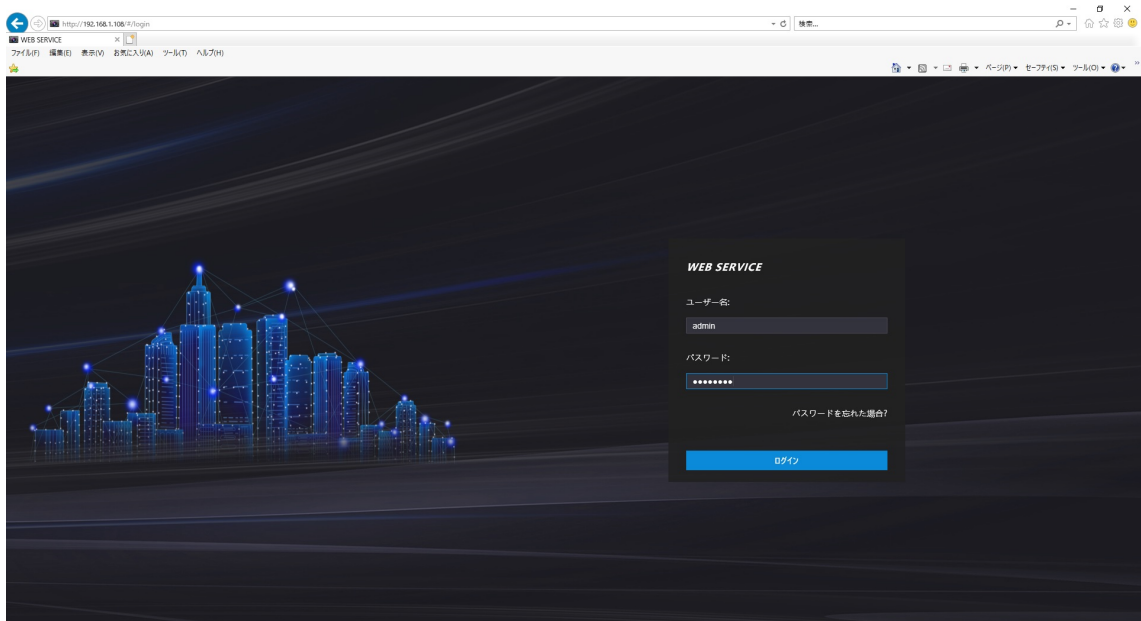
- 5) 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」でダブルクリックして、機器と同じネットワークセグメントの IP アドレスを入力します。



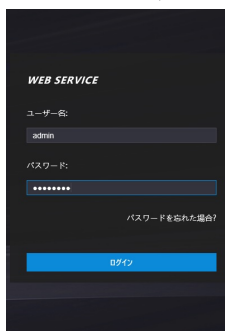
- ③ PC から機器をアクセスします
1) LANケーブルで PC と機器を繋ぎます



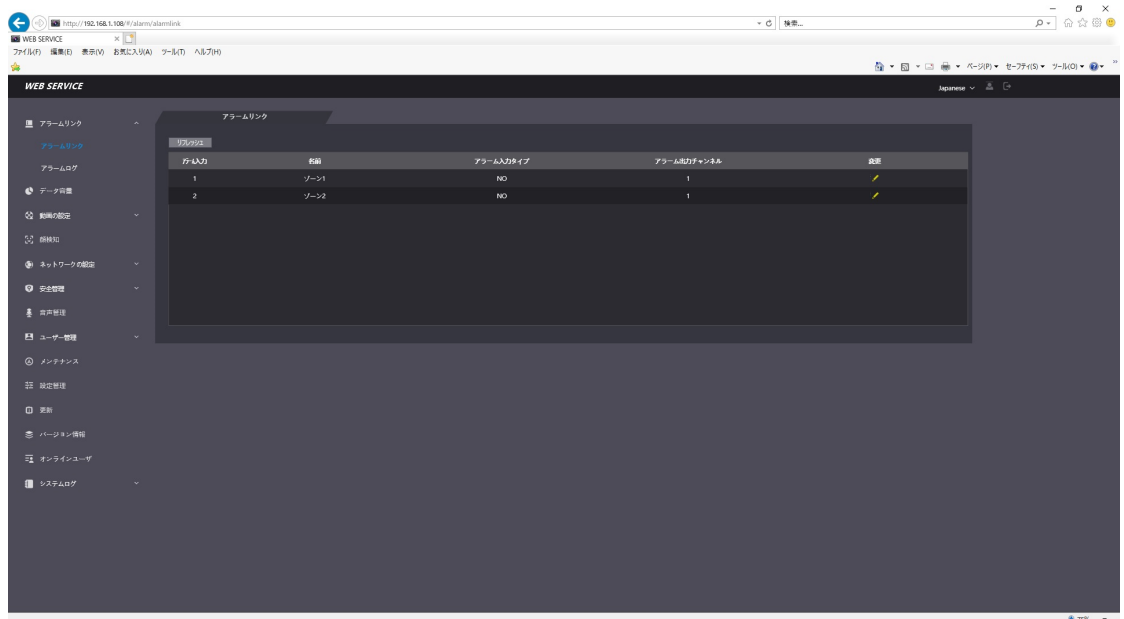
- 2) PC で「Internet Explorer」に機器の IP アドレス (192.168.1.108) を入力して、アクセスします



- 3) Admin アカウントのユーザー名とパスワードを入れて、ログインします



- 4) ログインした後は web 経由で機器を設定することができます



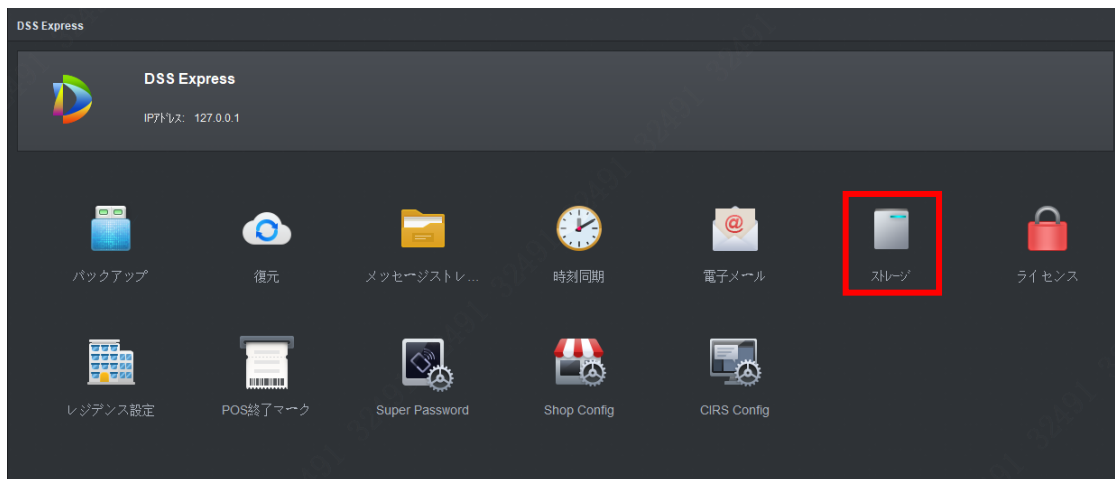
3 DSS Express 操作方法

(1) Express のストレージ設定

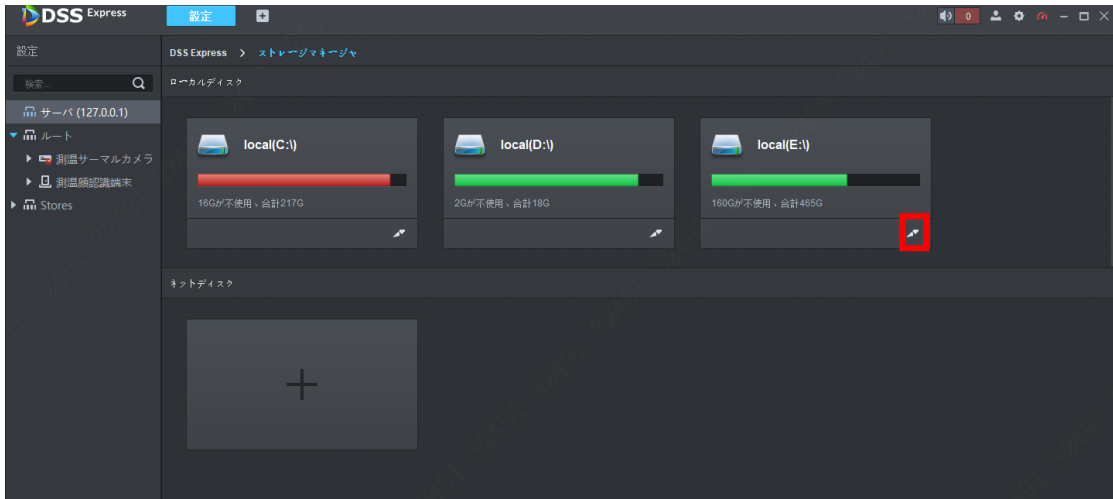
① 「ホームページ」画面で「設定」をクリックします



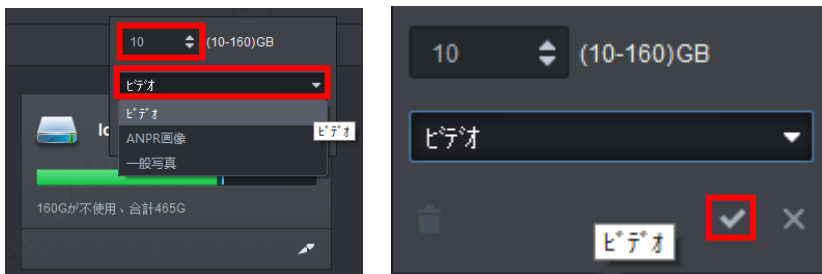
② 「ストレージ」をクリックします



③ 画像、或いはビデオを保存したディスクの右下のアイコンをクリックします



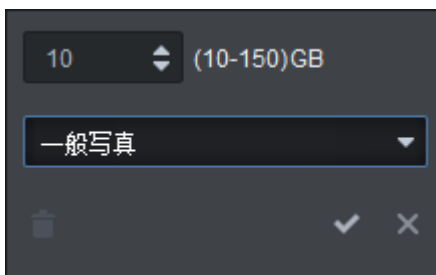
- ④ ストレージサイズを設定して、プルダウンメニューから「ビデオ」を選択します。「✓」で保存します



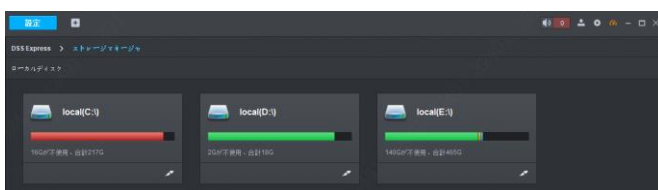
- ⑤ 先設定したビデオストレージの色が黄色になったら、もう一度右下のアイコンをクリックします



- ⑥ サイズを設定して、タイプを「一般写真」に設定して、保存します



- ⑦ 設定完了



(2) アクセス端末追加

- ① 「ホームページ」画面で「機器」をクリックします



- ② 「追加」ボタンをクリックして、機器の情報画面を呼び出します



- ③ 必要の情報を入力して、カテゴリを「アクセスコントロール」に設定して、「追加」ボタンをクリックして、機器を追加します。

The screenshot shows the 'すべてのデバイスを追加' (Add all devices) dialog box. The 'デバイスカテゴリ' (Device Category) dropdown is set to 'アクセスコントロール' (Access Control) and is highlighted with a red box.

すべてのデバイスを追加

デバイス名: 测温認識端末

登録モード: IPアドレス

デバイスカテゴリ: アクセスコントロール

IPアドレス: 192.168.1.108

ポート: 37777

組織: ルート

ユーザー名: admin

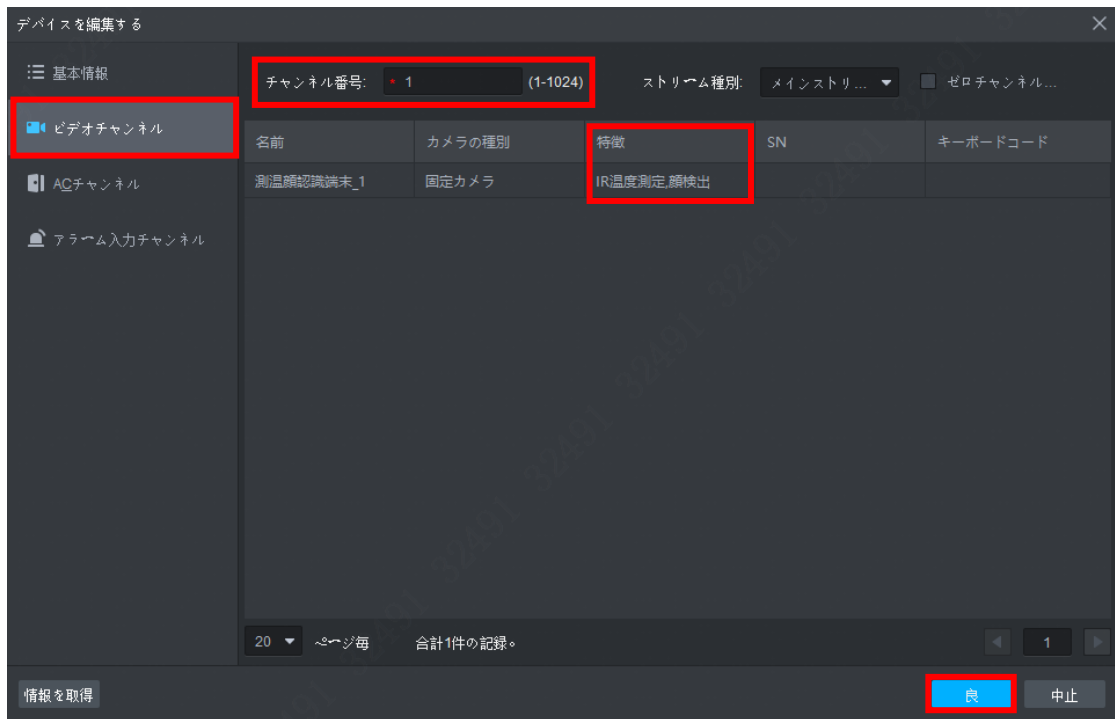
パスワード: *****

追加を続... **追加** 中止

- ④ 機器を追加した後は機器の編集ボタンを押します



- ⑤ タグ「ビデオチャンネル」を選択して、チャンネル番号に「1」を入力して、特徴の項目に「IR温度測定」と「顔検出」を設定します。

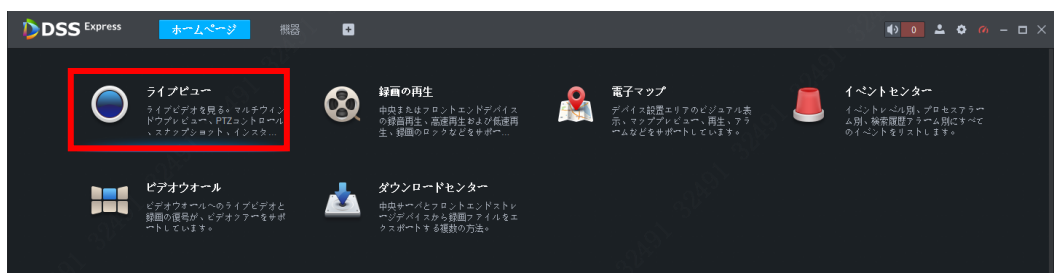


- ⑥ アクセス端末のライブ映像確認

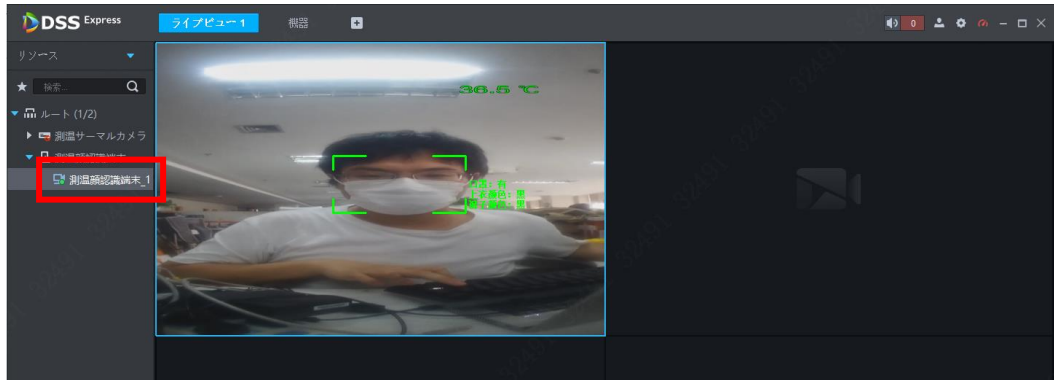
- 1) 「+」ボタンで新しい「ホームページ」を開けます



- 2) 「ライブビュー」をクリックします



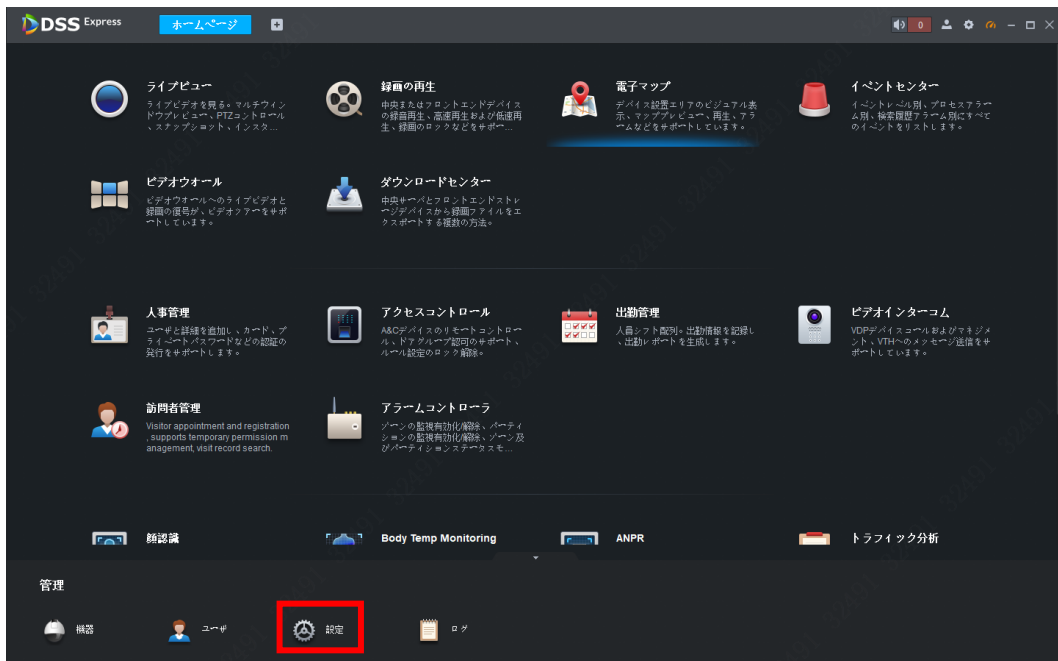
- 3) アクセス端末のチャンネルをダブルクリックして、ライブ映像が表示されます



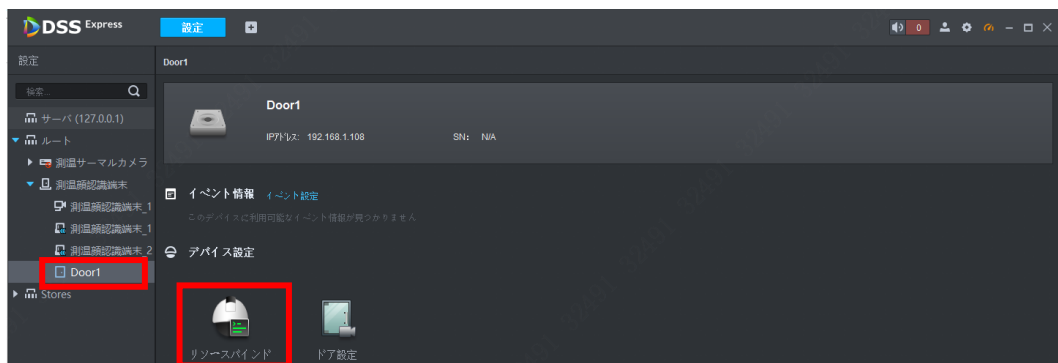
(3) アクセス端末設定

① アクセス端末とビデオチャンネルの紐付き（解錠イベントでリアルタイム映像確認用）

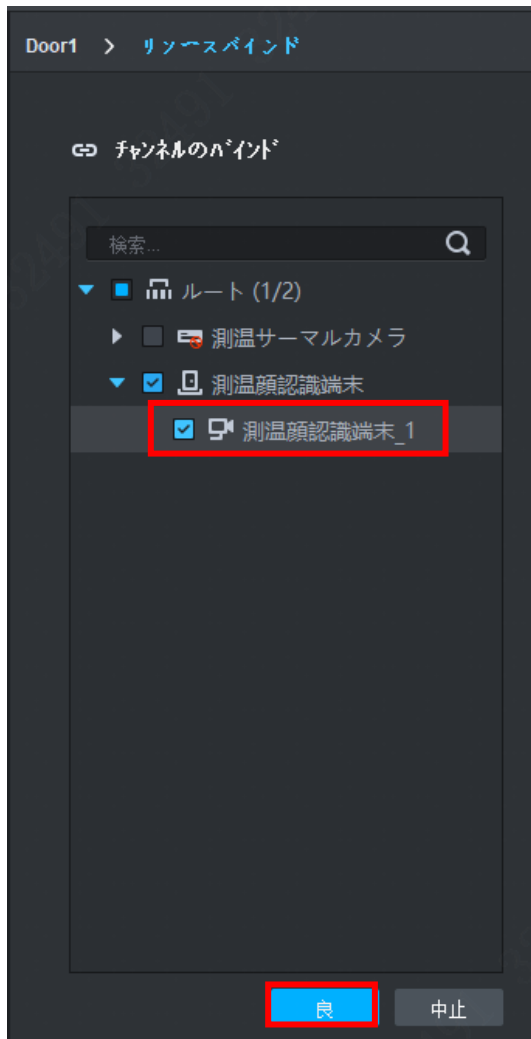
1) 「ホームページ」画面で「設定」をクリックします



2) 機器一覧からアクセス端末を選択して、展開された項目に「Door1」を選択します。右の画面の「リソースバインド」をクリックします。



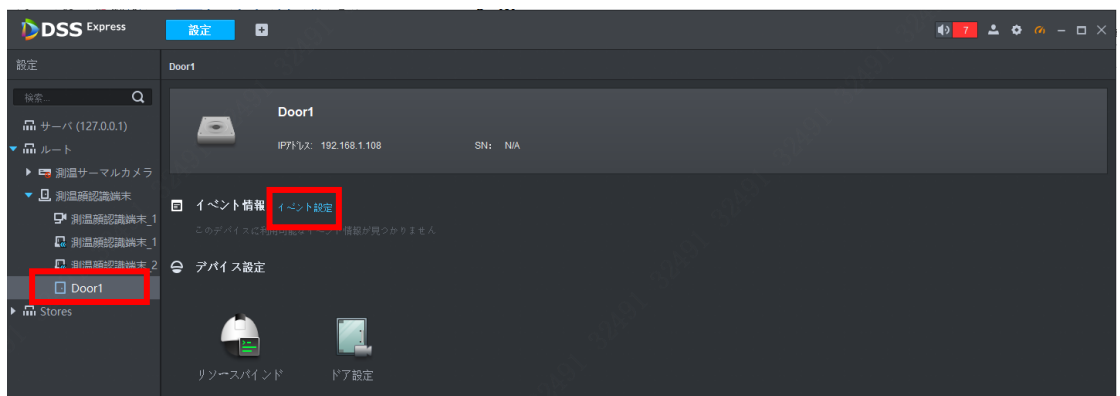
3) 連携したいビデオチャンネルをチェックして、「良」ボタンで保存します



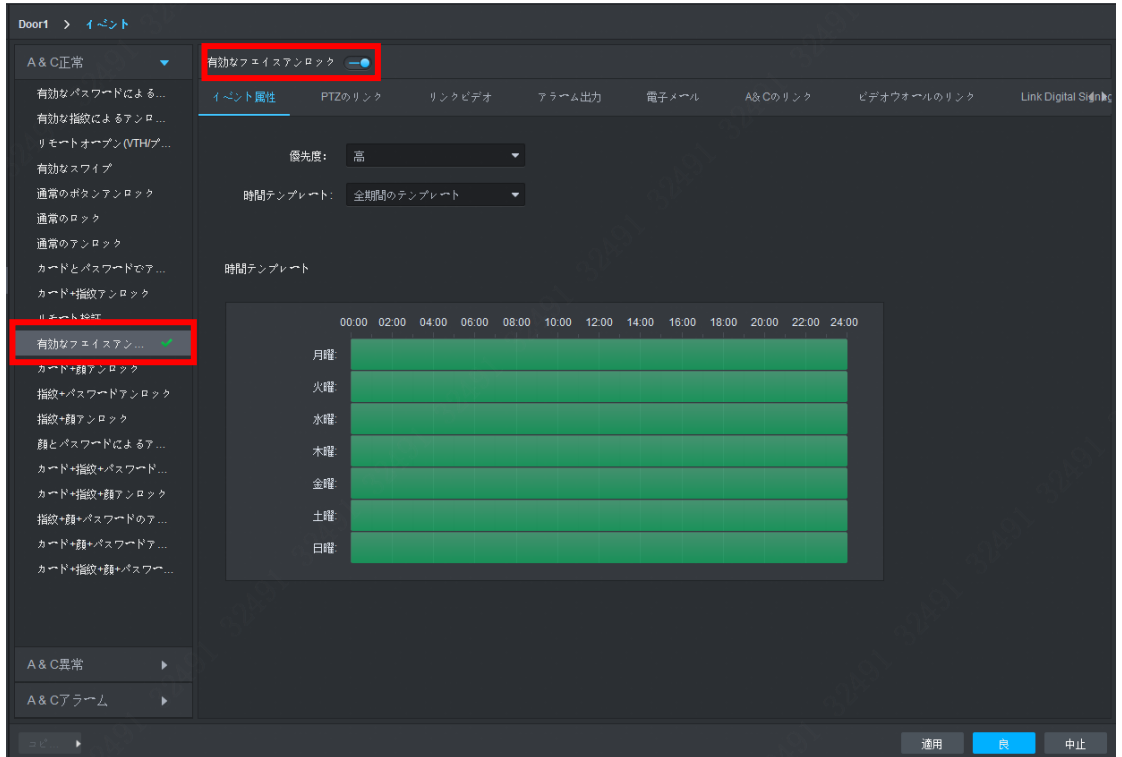
4) 設定完了

② 解錠録画とスナップショット設定 (顔認識解錠が例として説明します)

1) 「Door1」を選択して、「イベント設定」を選択します



2) 「A&C 正常」で「有効なフェイスアンロック」を選択して、有効します。

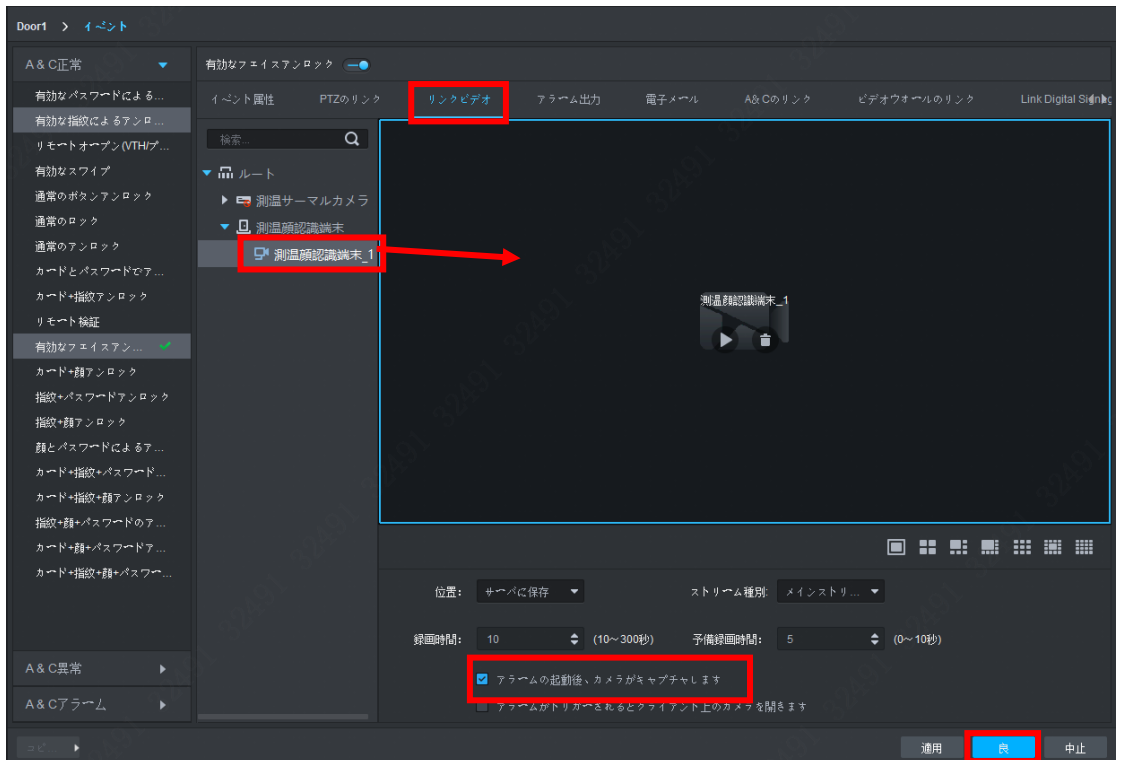


- 3) タグ「リンクビデオ」を選択して、映像表示エリアに保存したいビデオチャンネルをドラッグして、「アラームの起動後、カメラがキャプチャします」をチェックして、「良」で保存します。

※複数ビデオチャンネルの映像を保存したい場合は映像表示エリアしたの



で調整してください。



4) 設定完了

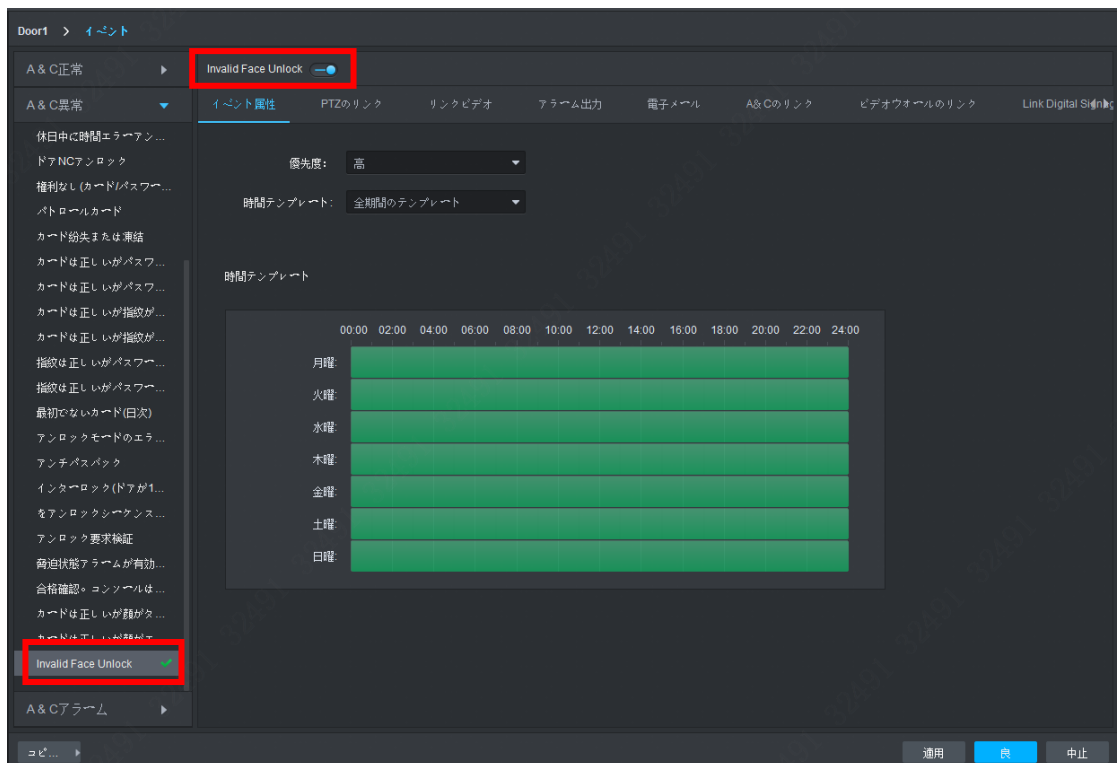


③ 異常イベント録画とスナップショット設定（体温異常など）

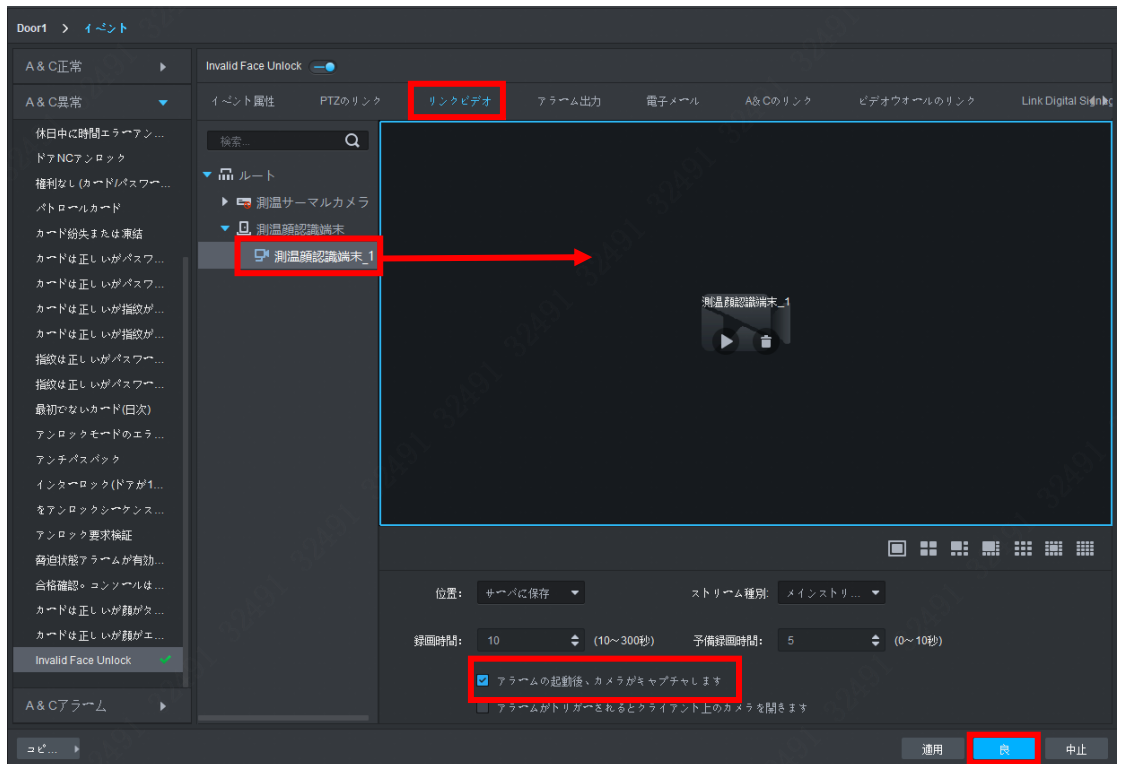
1) 「Door1」を選択して、「イベント設定」を選択します



2) 「A&C 異常」で「Invalid Face Unlock」を選択して、有効します。



3) タグ「リンクビデオ」を選択して、映像表示エリアに保存したいビデオチャンネルをドラッグして、「アラームの起動後、カメラがキャプチャします」をチェックして、「良」で保存します。



4) 設定完了



(4) ユーザー追加

① 「ホームページ」画面で「人事管理」をクリックします



② 「追加」 ボタンをクリックします



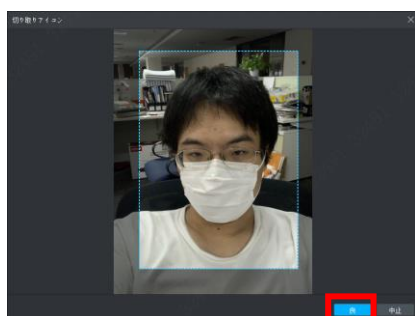
③ ユーザー情報を入力します。

1) ユーザー写真追加

マウスをユーザー写真の枠に移動して、表示されたリンク「画像をアップロード」をクリックします。

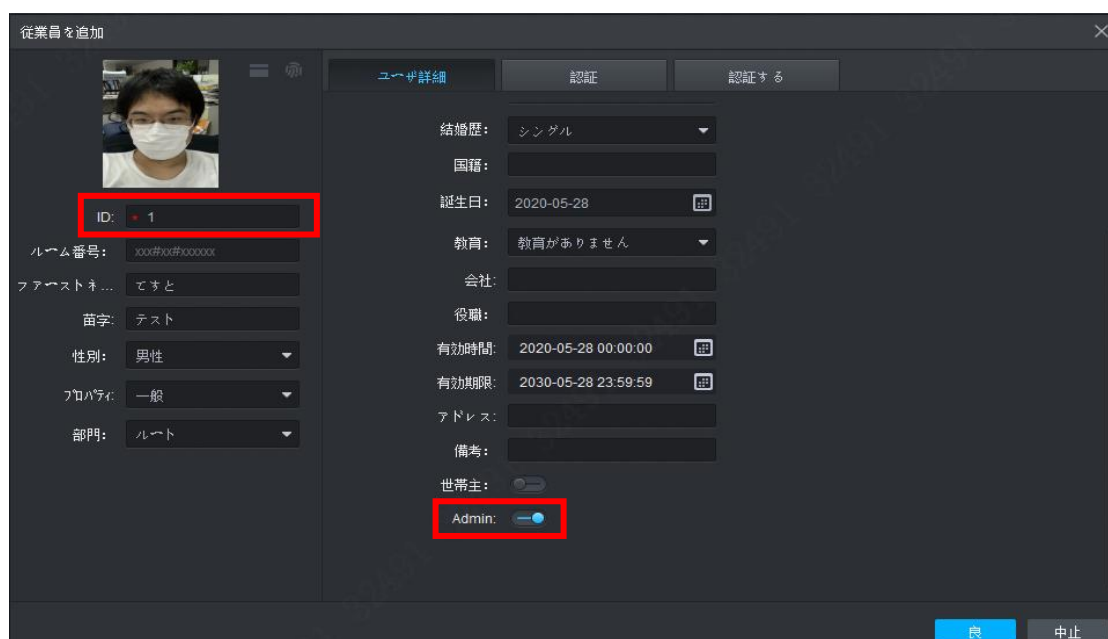


PC からアップロードしたい写真を選択して、顔の部分切り出して、「良」ボタンをクリックします

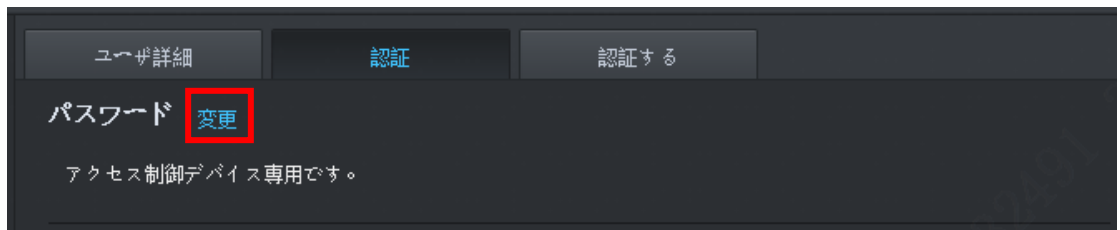


2) ユーザーの ID と他の必要の情報を入力します。

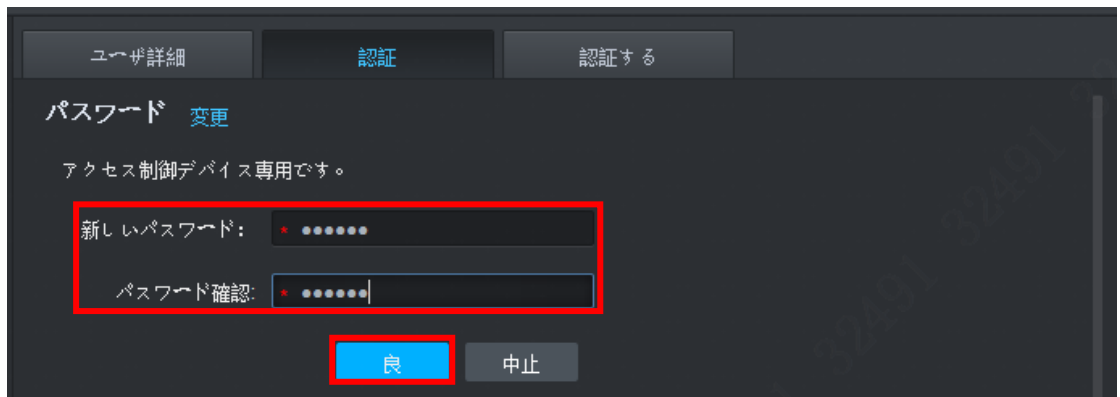
「ユーザー詳細」の一番下で「admin」項目があります、この項目をチェックすると、このユーザーが機器本体で設定の変更ができます。



- 3) ユーザーの解錠パスワードを設定します
「認証」タグを選択して、「変更」をクリックします



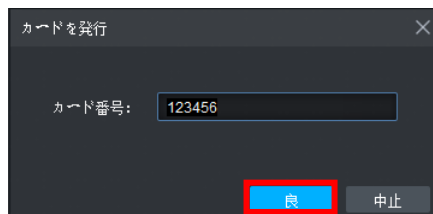
パスワードと確認用のパスワードを入力して、「良」ボタンで保存します。



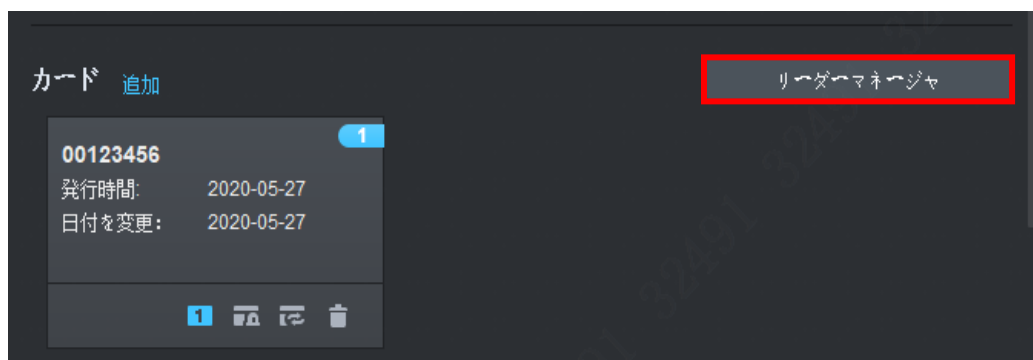
- 4) ユーザーの解錠カードを追加します
i. カード番号がわかる場合は「追加」をクリックします



手動カード番号を入力して、「良」ボタンで保存します。



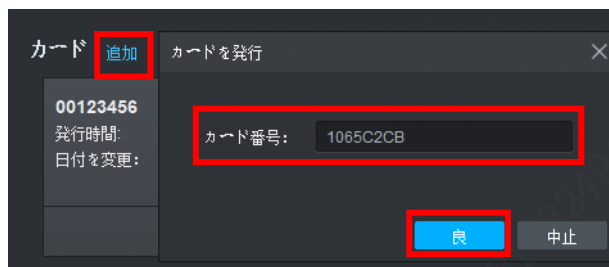
- ii. カード番号が分からない場合は右の「リーダーマネージャ」をクリックします



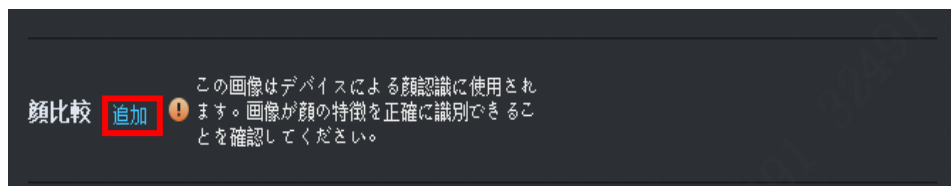
追加されたアクセス端末の「リーダー1」を選択して、「良」ボタンで保存します。



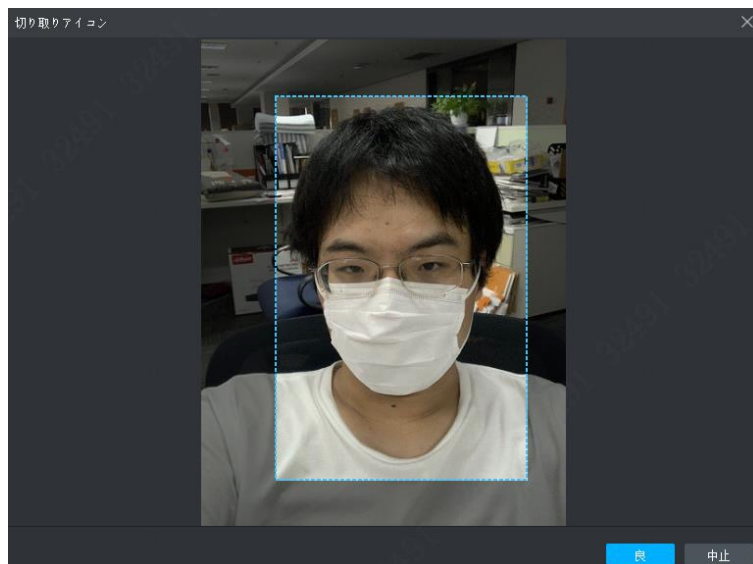
もう一度「追加」をクリックして、次の画面が出る時はカードをアクセス端末のリーダーでスキャンして、カード番号を読み込みます。「良」ボタンで保存します。



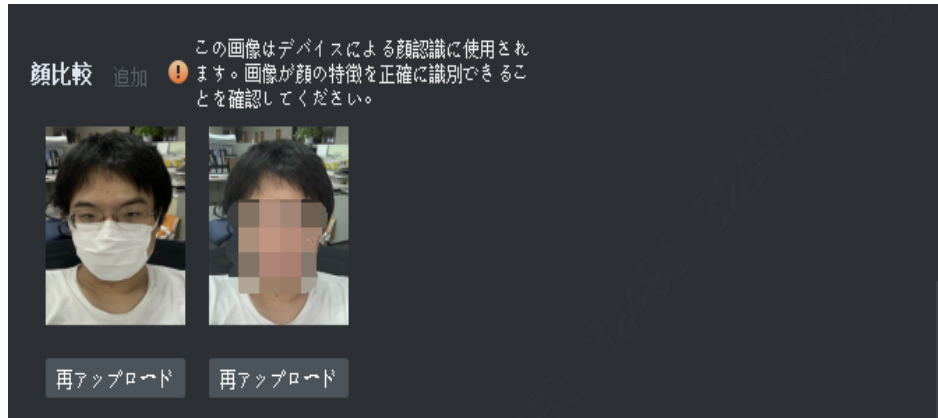
- 5) ユーザーの解錠用の顔情報を登録します。
- i. 「追加」をクリックします



- ii. PC からユーザーの写真を選択して、顔の部分を切り出して、「良」ボタンで保存します。

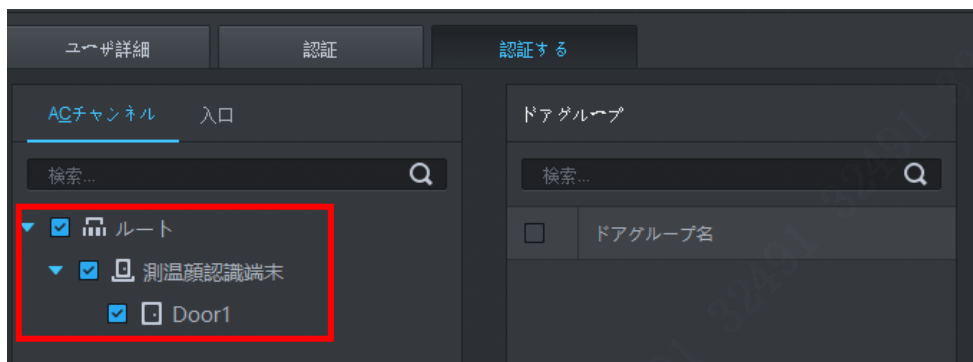


- iii. 一つユーザーは二枚の写真（マスク有/無）をアップロードできます

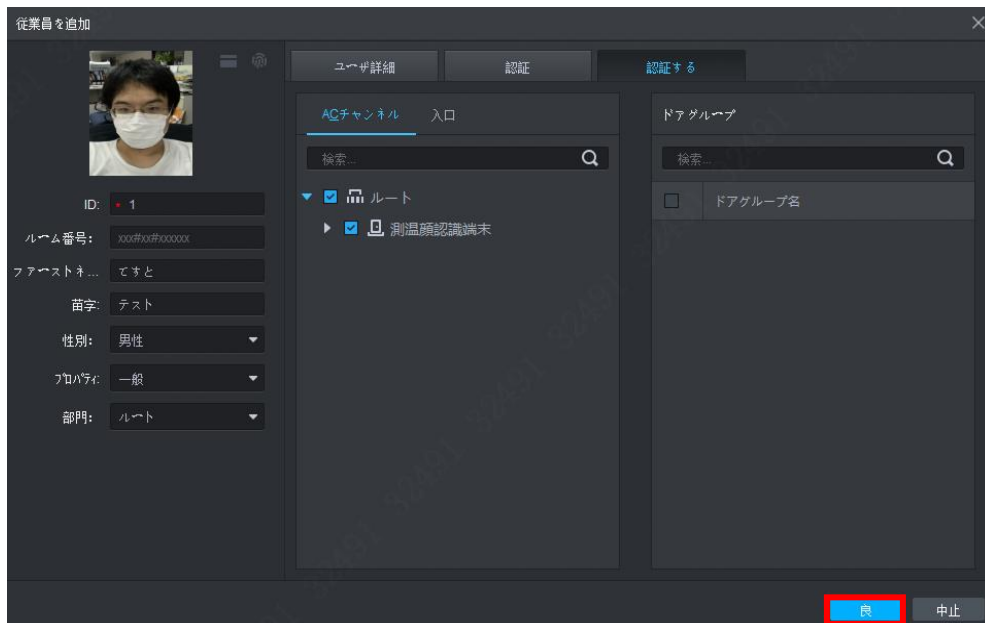


※アップロード写真の説明: 写真は jpg ファイルが必要です。写真は 75kb 以下が必要、300x300≤解像度≤600x600(お勧め解像度は 500x500)。写真の中には最大一つの顔、顔の部分は写真全体の 2/3 を超えないこと、写真の比例は 水平:垂直≤1:2。

- 6) ユーザー情報をアクセス端末に共有
「認証する」タグをクリックして、共有したい端末をチェックします



- 7) 「良」ボタンで保存します。

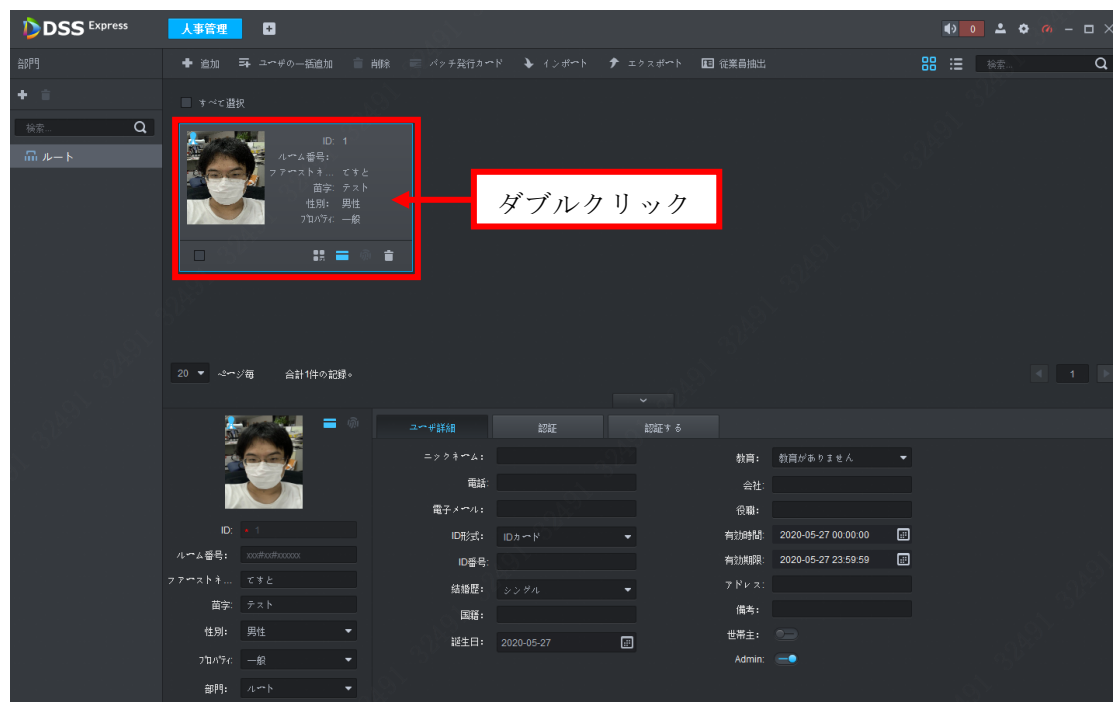


- 8) ユーザー追加完了



(5) ユーザー編集

マウスでユーザーをダブルクリックすると、ユーザーを編集できます



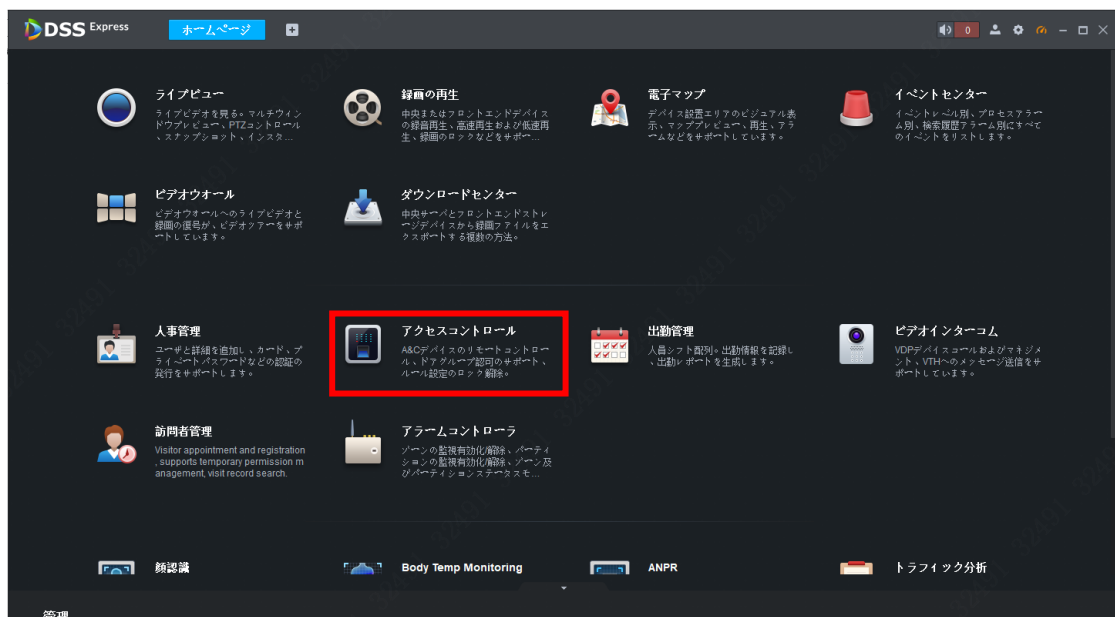
(6) ユーザー削除

ユーザーをチェックして、「削除」ボタンで削除できます



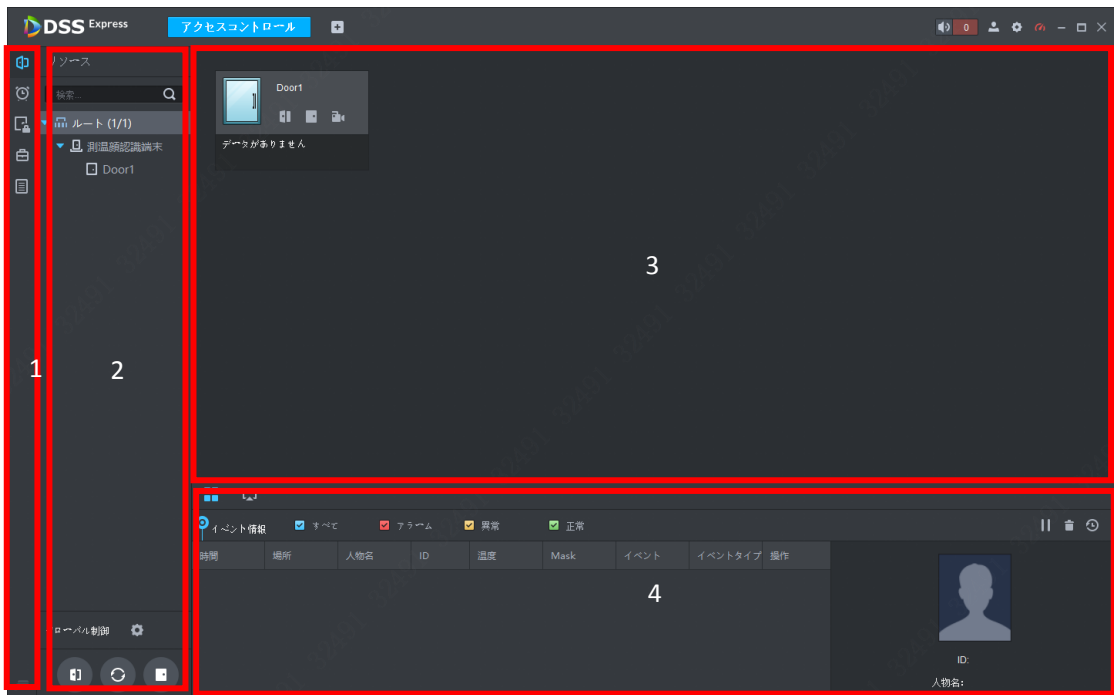
(7) リアルタイムで解錠記録を確認

- ① 「ホームページ」で「アクセスコントロール」をクリックします

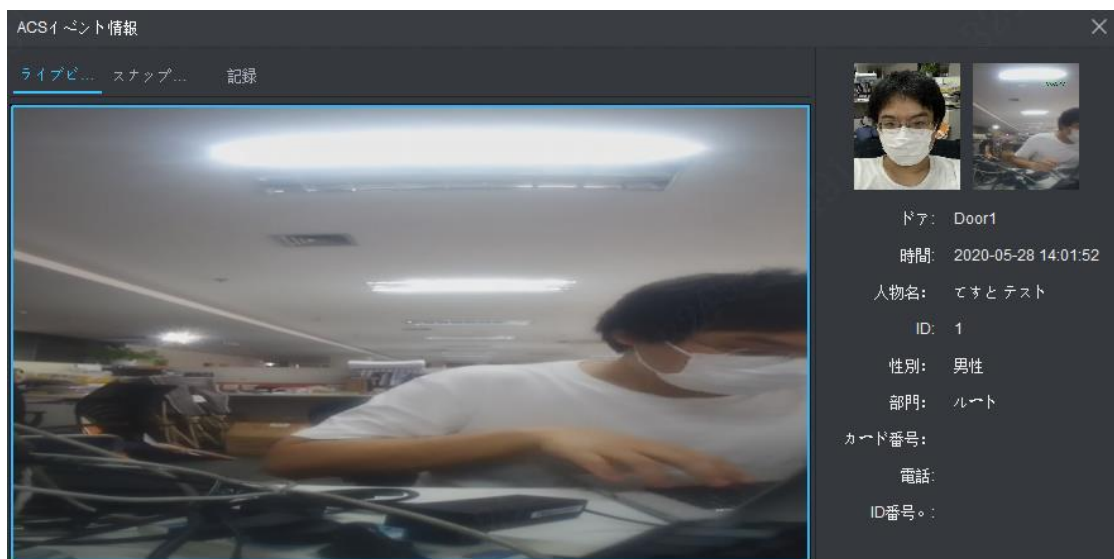


- ② 「アクセスコントロール」画面説明

項番	説明
1	機能パネルです。リアルタイムの解錠記録管理、機器のログなどを確認できます。
2	機器の一覧リストです、機器を右クリックして、解錠、施錠などができます。
3	機器の一覧リストです、各ドアのパネルのアイコンをクリックして、解錠、施錠などができます。
4	リアルタイムの解錠イベントです。解錠時間、場所、ユーザー、体温、マスク有無などを確認できます。写真、映像なども確認できます。



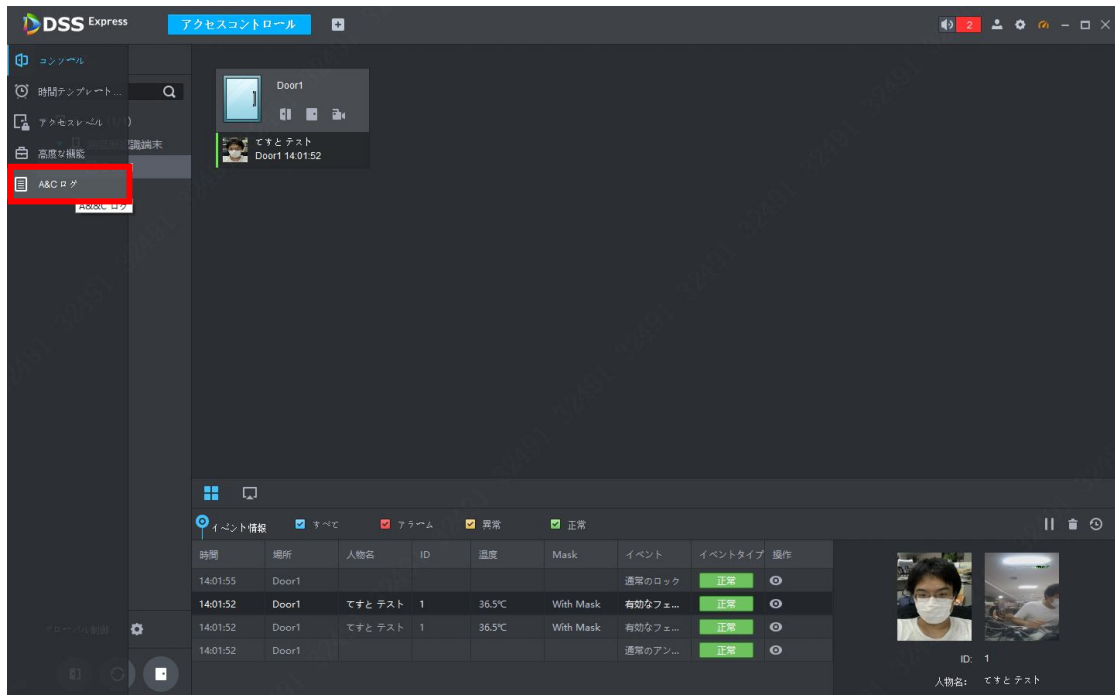
- ③ イベントを選択して、操作ボタンを押して、ライブ映像、スナップショット、録画を確認できます。



(8) ログ確認

- ① 「アクセスコントロール」画面で、マウスを左の機能パネルに移動して、パネルを展

開します。一番下の「A&C ログ」をクリックします。



- ② 左の機器一覧で機器を選択して、検索条件を設定して、「検索」ボタンで機器のログを確認します。

